

すぎのこつうしん

平成28年6月
古川東町カトリック保育園

「喜んでお手伝いをする心を育てる」

曇くなったり涼しくなったりと不順な天候の中、小さい子ども達が朝の時間に園庭で遊ぶ姿も見られるようになりました。0歳児はベビーカーに乗るのが嫌だと泣き出すこともありましたが、少しずつ楽しさが分かって来て笑顔になったり、お兄ちゃんお姉ちゃんが走っている姿を目で追ったりしています。大きいクラスの子も小さい子が大好きで傍に来て声を掛けてくれる微笑ましい光景が見られます。

2歳児に入ってくれた保育士がある日の出来事をお話してくれました。

「お昼寝後、グスっていた女の子を抱っこしながらおやつ準備の為に洗い物を絞り、その子に「カゴに入れてくれる?」と頼むと機嫌が良くなり嬉しそうにカゴに入れてくれました。すると別の女の子が自らそのおしぼりの入ったカゴをテーブルまで運び、それぞれの名前シールの所におしぼりをたんで置いていたのです。それを見ていた何人かの子がニコニコしながら喜んで見ていたので「椅子も並べてくれると嬉しいな」という言葉に男の子達は椅子をきれいに並べてくれた」ということです。これを見て、子ども達の自主性、観察力のすごさ、手先の機能の発達力と共にそれを見守った保育士に感動しました。このような場面を見逃してはいけなさと心から思います。2歳児にもこんな素晴らしい力があるんですね。

御家庭でもどんな小さな手伝いでも遊び感覚でも親と一緒にやり、親が嬉しそうにしていれば子ども達はきっと役に立ったことを嬉しく思うでしょう。小さい頃からの積み重ねで手伝うことが自然に出来るようになると思います。お休みの日にも、お家でゆったりとしたかわりが持てるといいですね。

<園長 平野義子>

行事予定	
2日	静修の日
7日	草すべり(以上児)・弁当の日 ※雨天時9日に延期
8日	防災訓練
17日	保育参観(以上児) ※講演「歯の健康」
23日	大崎ホーム訪問(4、5歳児)
24日	誕生会
28日	縦割り保育

6月生まれのお友だち

おたんじょうびおめでとう



今月のうた

聖歌「愛をください」

1 イエスさま わたしに いつでもえがおを
あふれるかんしゃを ゆるせるこころを
どんなときでも どんなひとにも
あたえる愛を 愛をください

うた「だから雨ふり」

1 きょう みどりのカエルがね 大きなハッパの うしろでお
お天気つぎで かなわんと 空においのりしたんだよ
だから きょうは 雨ふり だから きょうは 雨ふり

2 きょう となりの アジサイが すっかり用意をととのえて
そろそろ あたしも咲きたいと 空に おいのりしたんだよ
だから きょうは 雨ふり だから きょうは 雨ふり



おとうさん・おかあさんから

〇〇はことり組からお世話になりました。入園時にはまだおっぱいが止められず、私と離れるという経験もしたことがなかった本当に幼い〇〇が、今では4姉妹の長女としてとても頼もしいお姉さんになってくれました。子どもの成長は本当に早いもので、自分のことをいつの間にか「あたし」とよびはじめたのには主人も困惑したほどです。お友だちとの関わりの中で沢山の事を吸収し、先生方が考えてくださる活動の中で様々なことが出来るようになったことは、〇〇にとって一生の宝物となる筈です。まだ今年度は始まったばかりで、これから行事も沢山あるので良い思い出を作ってほしいとおもいます。

ひつじ組 〇〇〇〇さん(〇〇ちゃんのお母さん)



6月7日(火)は3歳以上児の「草すべりの日」ですが、

1歳のお誕生日を迎えたお子さんから「お弁当の日」となりますので、宜しくお願ひ致します。

といたしますので、宜しくお願ひ致します。

(飲み物は園で用意します。箸やスプーンなども忘れずに持たせて下さい)

※お弁当箱、箸やスプーン、ランチクロス等すべての物に名前を書いて下さい。





クラスだより

ぼんび組 (0歳児)

- <おらい> ・簡単な手伝いに興味を持ちしようとする。
・梅雨期を快適に過ごす。
- <家庭連携> ・玩具の片付け等「ないないしようね」「ちょうだい」など分かりやすく話し掛け、手伝いの楽しさを伝えましょう。
・気温の変化が大きく体調を崩しやすいので、お子さんの体調を必ず知らせて下さい。また、衣服の調節が出来るように着替えを多めに準備して下さい。

ひよこ組 (1歳児)

- <おらい> ・簡単な手伝いの楽しさを知る。
・生活や遊びの中で善悪や約束事があることを知る。
- <家庭連携> ・家庭でも子ども達に簡単な手伝いを頼み、出来た時には感謝の気持ちを伝え楽しく行えるようにしましょう。
・善い事をした時には沢山褒め、いけない事をした時にはその都度知らせ、繰り返しの中で覚えていけるよう伝えていきましょう。

ことり組 (2歳児)

- <おらい> ・手伝いや当番を喜んで行う。
・全身を使った遊びを楽しむ。
- <家庭連携> ・子どもが出来た手伝いを家庭でも用意し、手伝ってくれたことに感謝の気持ちを伝え、お手伝いすることの楽しさや喜びを味わえるようにしていきましょう。

こねこ組 (3歳児)

- <おらい> ・周りの人に目を向け、手伝おうとする。
・おしぼりの絞り方を知る。
- <家庭連携> ・手伝いを頼み、些細な事でも助かったことを伝え、手伝うことの楽しさや相手に喜ばれる嬉しさを感じられるようにしましょう。
・おしぼりを自分で絞る練習を始めます。絞りやすいようあまり大きすぎない物や薄手の物を持って来て下さい。

うさぎ組 (4歳児)

- <おらい> ・進んで手伝い、助け合おうとする。
・脱いだ服を風呂敷に包めるようになる。
- <家庭連携> ・子ども達にいろいろな手伝いを経験させ、楽しさや喜びを感じられるようにしましょう。
・簡単な紐の結び方を家庭でも練習してみましょう。



ひつじ組 (5歳児)

- <おらい> ・小さい子、困っている人に気付き優しく接したり手助けをする。
・持ち物の準備を自らやってみる。
- <家庭連携> ・小さい子や困っている人に優しく接したり手を貸す姿を見せ、子ども達の手本となっていきましょう。
・自ら所持品の準備をしようとする姿を見守り、忘れ物がないか確認をお願いします。
・就学の準備として園の方から子ども達に持ち物を依頼することもあるので、子ども達の話に耳を傾け不明な点は担任に確認してください。



子ども達はお当番やお手伝いを意欲的に進んで行ってくれます。給食では、あいさつや配膳のお手伝いをしてもらうのですが、ご家庭ではどうですか？コミュニケーションをとりながら子ども達の出来るお手伝いをさせてみてはいかがでしょうか。

<喜んでお手伝いする心を育みましょう>



保育園の生活の中では、様々なお手伝いがあります。年長のひつじ組は保育園の中で1番年上のクラスなので、外遊びの片付けの総仕上げからフランターで育てている野菜や草花の水やり、昼食後はこねこ組(3歳児)さんの布団を敷いてあげたり、起きたら畳んであげています。それをうさぎ組(4歳児)さんも見ていて早く着替えを済ませ手伝おうとしてくれます。又、ことり組(2歳児)さんから上のクラスにはお当番さんがおり、挨拶をしたりおやつや食事を配る仕事をしてくれます。小さいクラスの子も大きいクラスの子も毎日様々なお手伝いの中で過ごしていることに改めて気づかされます。

ご家庭でも帰宅したら、自分のバックの中からおしぼりとコップを出したり、食事を食べ終わったら皿を台所に下げたり、年長組になると次の日の準備や玄関掃除等している子もいるのではないのでしょうか。子ども達は家族の中でも保育園の中でもちゃんと「役割」を与えられて「仕事」をして人の役に立つ喜びを感じて、自分は必要とされているということを認識するのだと以前参加した研修会で教わりました。自分は必要とされる存在なんだと認識することは大きくなって自信となり、世の中の役に立つと思うようになるのだそうです。

保育園の子ども達みんながそのような心豊かな大人になって欲しいと願い、日々保育園・家庭と一緒に子育てを頑張っていきましょう！！

副主任・ことり組担任保育士 菅原 理以





あなたの一分間拝借!



2016年6月1日

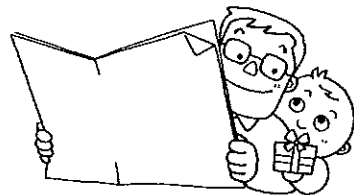
「私にも手伝わせて」、「僕にもやらせて」、子ども達は親の手伝いをしたがるものです。食事の準備、お片付け、新聞を取りに行く、お掃除など子どもなりに出来る事は何でも任せる寛大な心で応えて欲しいものです。忙しい時等は、「あっちに行って遊んで下さい」とお手伝いをしたい心の芽を潰してしまうことがこの家庭でも見受けられるのではないのでしょうか。また、あなたが手伝うとかえって足手纏いになるからといって無下に断ったりする方も多いと思います。心すべきことと受け止めて頂きたいものです。

お手伝いの心は、個人だけで行うものではありません。家庭だけではなく、地域社会全体で培われていく深層があると思います。ある肉屋さんで母娘が夕食のお買い物をした時、包装を終えた店主が幼い娘さんにわざわざお買物を渡しました。そして、お手伝いのご褒美にハム一枚を娘さんにあげたのです。それは当然の行為でした。親だけでなく地域社会が子ども達に生活の中でお手伝いすることの尊さと意味合いを教えている素晴らしい光景ではないのでしょうか。お手伝いの喜びを分かち合うひと時、いつまでも両者の心に残る、忘れることがない愛のひと時だったと信じます。当たり前が当たり前に行われた瞬間でした。ここにこそ、喜んでお手伝いで助け合う人間だけに出来る仕合せへの神秘が実在すると確信する御仁です。

お手伝い、それは人としてのあるべき姿ですから、それだけに心しなければならぬ幾つかの事がありますので、みんなで反省、猛省いたしましょう。幼い子ども達の心には、神様から「奉仕」というタレントが皆に与えられております。この「奉仕」という芽が生活環境如何で育成され、社会に役立つか、それとも潰されたり、歪められたりするものですから、自重自戒しなければなりませんね。

6月の人間性教育<心の保育>の目標は、「お手伝いを愛する心の育成に力を尽くしましょう!」です。

お手伝い、それは「仕える」事の始めではないかと思えます。人々にとっては、嫌いなことかもしれません。特に小さい子ども達にとっては、至難な作業(しわざ)でしょう。それでも幼児期から自分の好きな事だけに夢中になるのではなく、人と人の間、親と子、友+友の中に立って互いに神様が喜ぶことを分かち合うようお手伝いする気持ちを育む努力の積み重ねがなければ、人は人間的存在「じんかんできぞんざい」として育っていかないでしょう。「仕える」ことより「仕えられる」ことを選ぶ人間になってしまいます。



イエスは弟子たちに言われました。

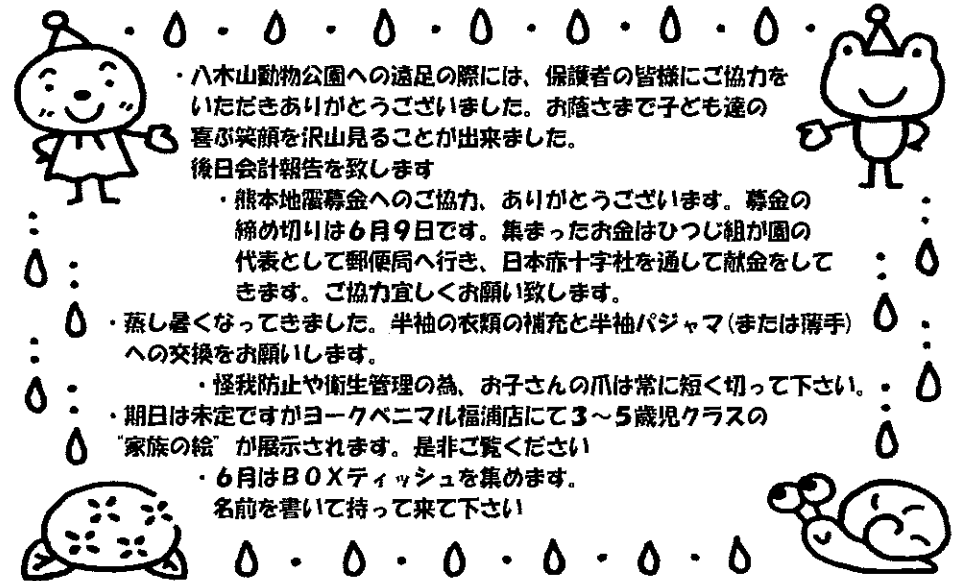
「あなたがみんなの前で一番になりたいなら人々の僕(しもべ)、召使になって仕えるようにしなさい。「仕える」ことがあなたを高め、あなたを深め、あなたを「仕合せ」にするのですから」と……

「Aちゃん、手伝って!」「今、これをしてから、あとでね。」「Bちゃん、これ片付けて!」「嫌、それは私が使ったものじゃない……」と仕える姿勢から遠い言葉が返ってきます。6月は共に仕え合うことの喜びを分かち合う日々になりますように祈念いたします。

イエスの母マリア様は、救い主の母となりますか?と問われた時、「私はあなたの「はしため」です、「召使い」です。あなたの「仰せ」のとおりになりますように」と謙虚に承諾されたことが聖書に啓示されています。未来永劫まで【母】としての尊厳、相応しさという人としてのあるべき姿を証(あかし)された最高の女(ひと)ではないかといつも思います。私達も「仕える」ことが決して卑しいこと、自己卑下することではなく、最高の人間になるために必要な行為であることに目覚め、特にいと小さき人々の味方になれるよう人間的存在「じんかんできぞんざい」の意味合い、その深層を考えて頂きたいと思えます。

謙虚に仕え合う世界は人の「幸せ」(仕合せ)を招く!

カトリック古川教会
司祭 川井 啓



・八木山動物公園への遠足の際には、保護者の皆様にご協力をいただきありがとうございました。お蔭さまで子ども達の喜ぶ笑顔が沢山見ることが出来ました。

後日会計報告を致します

- ・熊本地震募金へのご協力、ありがとうございます。募金の締め切りは6月9日です。集まったお金はひつじ組が園の代表として郵便局へ行き、日本赤十字社を通して献金をしてきます。ご協力宜しくお願い致します。
- ・蒸し暑くなってきました。半袖の衣類の補充と半袖パジャマ(または薄手)への交換をお願いします。
- ・怪我防止や衛生管理の為、お子さんの爪は常に短く切って下さい。
- ・期日は未定ですがヨークベニマル福満店にて3~5歳児クラスの「家族の絵」が展示されます。是非ご覧ください
- ・6月はBOXティッシュを集めます。名前を書いて持って来て下さい